

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立荘山田小学校
(片山中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+7.8	+4.6
令和5年度	+4.8	+5.5
令和4年度	-2.6	-5.2

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 話すこと・聞くこと 我が国の言語文化 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方 本校 75% 全国 67.7% 県 69%	重点課題	◎長い会話文において、相手の話の内容や会話全体の流れを読み取り、相手に伝わる話し方の工夫として正しいものを選択することができていない。(設問1二(2) 平均正答率 47.4%)【話すこと・聞くこと】 ◇目的や意図に応じて、情報の整理することに課題がある。(設問1二(3) 平均正答率 64.5%)【話すこと・聞くこと】
	改善の方策	◎「話す・聞く」単元において、スムーズに会話を進めるための言語技術や資料の使い方などを各学年の発達段階に合わせて指導する等、相手とのコミュニケーションを円滑に進めることができる工夫を理解する場を設定する。 ◇情報と情報の関係を明確にして、話す場や文章で表現する場を設定する。
	検証	◎全国学力 設問1二(2) (第6学年, 12月) 目標 90%以上→結果 90% (第5学年, 2月) 目標 80%以上→結果 55% (第4学年, 2月) 目標 70%以上→結果 62% ◇話す・聞くテスト (全学年, 12月) 目標 80%以上→結果 86%
算数 数と計算 図形 変化と関係 データの活用 本校 68% 全国 63.4% 県 64%	重点課題	◎道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することができていない。(設問4(3) 平均正答率 30.3%) 【変化と関係】 ◇空間を認識する図形の問題に課題がある。(設問3(2) 平均正答率 65.8%)【図形】
	改善の方策	◎学習のまとめを行った後にペアトークを取り入れ、本時の問題の解き方を全員が算数用語を使い論理的に説明し、学習内容を定着させる時間を設定する。 ◇既習事項を含め、図形の基本知識の復習を適宜行う。(タブレットの効果的な活用)
	検証	◎全国学力 設問4(3) (第6学年, 12月) 目標 90%以上→結果 84% (第5学年, 2月) 目標 80%以上→結果 77% ◇単元テスト (第4～6学年, 12月) 目標 80%以上→結果 80%

【来年度に向けて】

次の2点を重点的に取り組んでいく。1点目は授業の中での話し合い活動を意識して取り入れていく。話し手の意図を汲みながら聞き、意見をつなげていく経験を授業の中で大切にする。2点目は、算数科の授業の中で、継続して本時の問題の解き方を全員が算数用語を使い論理的に説明し、学習内容を定着させる時間を設定する。1時間1時間の授業を丁寧に行い、確かな学力を育てていく。